

Isehara Rotary Club

International Rotary District 2780th/Group#7

2018-2019 年度 第 2586 回例会
平成 31 年 2 月 27 日 (水) 曇り

RI 会長/バリー・ラシン
地区ガバナー/脇 洋一郎 (茅ヶ崎湘南 RC)
会長/堂前 慶之
幹事/外谷 正人
会報委員長/大澤 守門

会長あいさつ



2018-2019 年度/堂前 慶之会長

花粉の季節がやって来ました。私は発症してからかれこれ 40 年経ちますが、発症当時は花粉症という言葉もなく、原因不明のアレルギーと言われました。民間療法や「○○を食べるといい」など噂されるものをいろいろ試してきましたが、現在は 1 ヶ月前から薬に身体を慣らし、2 年程前から食べ続けているヨーグルトのお蔭であまり酷くならず済んでいます。しかし、この 2~3 日は車に薄ら積もった黄緑色の花粉を見ると、さすがに目と鼻がかゆくなります。さて、酒井さん、お帰りなさい！ 思いのほか早く復帰されて良かったです。事務局不在で外谷幹事が一番苦労されたと思いますが、これからもよろしく願いいたします。本日、I・M 記録集が配布されました。しっかりした装丁できれいですね。表紙をめくると、私が仏頂面で睨んでいるような写真が掲載されているのが不本意であります…。昨日、伊勢原市役所商工観光振興課より、渋田川芝桜の植栽作業のお知らせがありました。市内ボランティアを募り 3/9 (土) 9 時より芝桜の植栽作業を行うので、関係団体である伊勢原 RC の皆様も是非ご協力くださいとのことです。3/10 (日) はダンス事業もあるので連日となりますが皆様ご協力をよろしく願いいたします。2 月にもなると次年度の準備が始まります。今年はまだまだ事業が目白押しなので、次年度モードの雰囲気はあまり感じられないかも知れませんが、先日、東井年度の理事初顔合わせ会が開催されました。しっかりと資料も揃い着々と準備が進められています。指名された次年度委員長の皆さんも東井年度を盛り上げるため共に頑張ってくださいませ。



点鐘

堂前 慶之会長

ロータリーソング

手に手つないで
四つのテスト 東井重和会員

司会進行

東井 重和 会長エレクト

今後の予定

- ・ 3/6 [第 2587 回]理事・役員会/クラブ協議会 50 周年事業
- ・ 3/10 50 周年事業 ダンスフェスティバル
- ・ 3/13 [第 2588 回]振替休会
- ・ 3/20 [第 2589 回]東井会長エレクト PETS 報告
- ・ 3/22-23 新会員の集い (於流: 横浜ローズホテル)

幹事報告

★ガバナー事務より

- ・ 3 月のロータリーレートのお知らせが配信されております。
1 ドル=110 円
- ・ 2019 年地区研修・協議会・開催のご案内が配信されております。
日 時: 4 月 21 日(日) 12:30 点鐘
場 所: 日本大学生物資源科学部
登録締切: 3 月 20 日 (水)
登 録 料: 1 名につき 8,000 円

★相模原かめりあロータリークラブより

- ロータリー加盟認証状伝達式のご案内が届いております。
日 時: 4 月 14 日(日) 式典 12:30 祝賀会 3:30~15:30
会 場: ホテルセンチュリー相模大野 8 階フェニックス
会 費: 1 人 10,000 円
申 込: 3 月 15 日(金)

★厚木県央ロータリークラブより

- I・M に参加された松下ガバナー補佐にお礼のお手紙が届いております。

★伊勢原観光道灌まつり実行委員会より

- 第 51 回伊勢原観光道灌まつり第 3 回実行委員会の資料が届いております。

★認定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会より

- ニュースレターが届いております。

★伊勢原大神宮より

- 節分祭のお礼と写真が届いております。

堂前慶之君 / 外谷正人君 / 東井重和君 / 築城忠生君 / 土屋修君 / 濱田勝彌君 /
 荒巻哲朗君 / 松下孝君 / 飯田隆三君 / 小泉隆一郎君 / 井戸川秀治君 / 田中徹君 /
 山田昌紀君 / 高梨浩樹君 / 大澤守門君 / 田村貴寿君 / 天野耕一郎君 / 濱尾ゆかり君

[会員誕生祝い]



加藤 桂君

誕生日をお祝いして頂きありがとうございます。より一層女子力を磨いてステキなお子様になりたいと思います。

[会員誕生祝い]



萩原 鉄也君

誕生日を祝って頂きありがとうございます。本日卓和です。宜しく願い致します。

[創立記念祝い]



外谷 正人君

創立記念をお祝いして頂きありがとうございます。22年が経ちました。昨年社名を変更し、新社名で頑張っていきます。

[会員誕生/創立記念/結婚記念祝い]



大谷 聡君

結婚・入会そして創立とトリプルでお祝い頂きありがとうございます。

出席報告

濱尾ゆかり / 出席・プログラム委員長

会員数	出席計算に用いた数	出席者数	出席率 (%)	前々回修正出席率 (%)	MAKE UP
61	59	35	59.32	なし	ふじさわ湘南 RC 松下君・田中君・貝原君・大澤君・濱尾君・田村君・天野君

卓 話

萩原 鉄也 君

1. 「すべては未来の伊勢原のために」～行動する政治家～

今回、神奈川県議会議員に挑戦する目的は、この伊勢原を未来の子どもたちにしっかりと引き渡すことです。そのためには伊勢原が夢のあるまち夢の持てるまちでなくてはなりません。私は、約7年間の市会議員の経験で、市民の皆様のために政治をするということを学びました。政党のためでも、会派のためでも、自分のためでもありません。揚げ足取りや足の引っ張り合いの政治や、票集めのためだけに地域を小まめに回ることや公の事をなそうとするとときに誰の手柄などといった事にこだわるのではなく、皆で力をあわせ、一つの目標のために、すなわち、より良い伊勢原のため活動していくべきです。

本市での県議会議員選挙は、前々回は補欠選挙、前回は無投票、そして今回も場合によっては無投票になっていたかもしれません11年間選挙のないこととなります。このような状態では皆様が県政に対して関心を持っていないのは無理もありません。市民の皆様へに選択する機会を持っていただく県政に対し考えるきっかけを持っていただく、そんな意味でも今回の決意となりました。更に1人区の代表の県議会議員は首長と並び、ビジョンの持てる未来の伊勢原を描ける政治家でなくてはなりません。あわせて、首長や市役所職員、市議会と連携して心をついに伊勢原市の可能性を活かしていく必要があります。伊勢原のために「真の県政とのパイプ役」を目指して活動してまいります。

2. 「県議会の透明性の向上」

神奈川県議会では何が議論され、何が決められたか、ご存知でしょうか？ほとんどの方がわからないのではないのでしょうか。県議会議員からの発信が不足していると感じます。市民の方々に県議会の見える化をすることで興味を持っていただくために、県政への要望事項の進行具合なども含めた情報発信、情報公開を徹底していきます。身近な県政、県議会の見える化を目指してまいります。

3. 「県政への要望事項の早期解決を目指して」

県政要望の重点項目として挙げられている新東名高速道路、246号バイパスなどの整備、仮称伊勢原北インターチェンジなどの新たな産業基盤創出、県道3路線の整備、ツインシティ整備計画に定める東西、南北の道路の早期整備、2級河川や高橋沢の護岸など砂防指定地の整備、塔の山緑地公園の整備など現在抱えている、県の事業の早期解決を目指します。246号バイパス、西富岡石倉線、県道の整備などは20年以上前より、県道61号線の電柱地中化は10年近く前より県政要望事項として挙げられていますが、未だに解決していません。解決のためには諸問題が数多くあり、時間のかかる現実があります。しかし、少なくとも進行状況等はきちんと説明していかなければならないと考えます。現在、国道246号バイパス建設促進議員連盟の役員として国交省、県庁などに陳情活動を行い早期解決に向かい奮闘しています。昨今のゲリラ豪雨などの状況から河川整備については、早期解決の必要性を強く感じています。



4. 「少子高齢化社会に向けて～健康寿命の延伸について～」

現在日本は65歳以上の高齢者が占める割合は28%近くとなり、いわゆる超高齢社会を迎えています。ここに至るまでは世界でも類のない速さで進み、2035年には3人に1人が高齢者になると試算されています。また死亡数が出生数を上回っている状態が続くことが予測され、人口減少、少子化、超高齢社会、これが今後の環境です。そのような中では平均寿命は年々伸びています。しかし、介護の必要のない年齢と言われる健康寿命との差は男性でおよそ10年、女性で12年です。男性も女性も10年近く介護の必要な状態であると言えます。この差を縮める施策が必要になってきます。介護の必要な状態になってしまう一番の原因疾患は認知症です、次に脳血管疾患、転倒による骨折と続きます。特に認知症は今後、国民病になる恐れがあります。現在世界の認知症患者は3500万人と言われていています。2060年には高齢者の3人に1人は認知症と言われていています。これらの疾患にならないようにする事が健康寿命の延伸につながると考えられます。

5. 「子育て世代、地域教育のために」

日本創生会議、人口減少問題検討分科会が2040年までに全国約1800市町村のうち約半数(896市町村)が消滅する恐れがあると発表しました。子どもたちが伊勢原に生まれて良かったと思えるまちに、その親たちすなわち、子育て世代に選ばれるまちでなくてはなりません。若い世代が安心して働き、希望通りに結婚、出産、子育てをする環境を整備します。子育て世代にとって住みたいと思ってもらえるまちにするために、さらには子どもたちが夢を持ち、自分で道を切り開いていくために伊勢原らしい特徴ある教育「郷土愛と豊かな心を育む教育」が必要です。郷土の自然等、地域性を活かしたスポーツや環境学習の推進を目指してまいります。また、日本に来る外国人を広く迎えていく時代です。子どもたちが郷土の歴史観、伝統文化を知識として身につけ、世界中の日本を理解できる、日本人としての自覚が重要になってきます。その自覚があってこそ他国の人間も同じように国を愛する気持ちを理解でき、相手を尊重することで、尊敬される日本人となるのだと思います。故郷や家族、先生として自分を尊敬できる「誇りある教育」を推進します。

6. 「地域経済の活性化について」

市域では、新東名高速道路や国道246号バイパスの整備、インターチェンジの設置により遠方からの観光客の増加や新たな企業立地などによる経済効果が期待されています。本市は地域活性化や新規ビジネス創出に取り組むビッグチャンスとなります。新たな産業用地の整備により優良企業の誘致を推進するとともに、「ローカル経済」地域産業の活性化という重要な課題に取り組んでいきます。また、昨年の全国の空き家率が過去最高の13.5%、神奈川県は11.2%、伊勢原は14.3%、空き家問題は防災や治安の観点はもちろん人口急減に対する定住促進策や地域経済活性化として重要課題となります。全国版の空き家バンク、マッチングシステムの推進を唱えてまいります。

7. 「観光振興」

2013年に県の新たな観光の核づくり認定事業に平成大山講プロジェクトが認定され、2015年にはミシュラングリーンガイドジャポンで大山が紹介され、翌年2016年、文化庁が創設した日本遺産に「大山詣り」のストーリーが認定されました。本市の歴史・文化資源に多くの注目が集まっています。地域経済の活性化を図るため、こうした地域資源の有効活用や東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を契機とした国際観光地づくりの推進も必要となります。

8. 「農業基盤の安定」

農業においては、従事者の高齢化や担い手不足、有害鳥獣による農作物被害などにより、耕作放棄地が増加傾向にあります。農地の効率的な利用を促進するとともに、農畜産物のブランド化、6次産業化などの都市近郊型の農業の利点を生かした取り組みを推進することにより、農業所得を向上させ、農業の活性化を図る必要があります。市内の若手農業従事者と連携をして積極的に取り組みます。

9. 「防災・減災力の強化について」

伊勢原市では自主防災リーダーの養成や防災講座、防災教室など、ソフト面からの減災、防災活動の拠点となる公園に防災トイレ、かまどベンチなどの防災機能を付加するといった、ハード面での減災に取り組んでいます。さらに大規模災害の発生に備え東松山市や総社市、宇土市などと相互応援協定を結び積極的に「減災」に取り組んでいます。さらに「災害に強いまちづくり」をめざして「いせはらくらし安心メール」にも取り組んでいます。防災力の向上を図るためには市町村、多都道府県、国との連携や企業、団体等との連携を一層強化して行きます。



Isehara Rotary Club

〒259-1131 神奈川県伊勢原市伊勢原1-2-2 横浜銀行伊勢原支店内
TEL. 0463-92-5777/FAX. 0463-95-5313
E-MAIL. rc1sehara@gmail.com
(事務局勤務時間/月・火・水/10:00~17:00)

[例会場]和膳 照國/伊勢原市東大竹937-1
TEL. 0463-92-1919
[例会日]毎週水曜日/12:30~13:30
(食事は12:00より準備いたしております)